

認定調査票記入上のお願い

越谷市介護保険課

1. 記入方法

認定調査票への記入は、HB以上の鉛筆またはシャープペンシルを使用して下さい。

基本調査のマーク記入は点線をなぞり、○印でお願いします。

(チェック「レ」塗り潰し「●」は 不可)

2. 記入事項(概況調査)

I. 調査員(記入者)

実施日時、調査員氏名を記入して下さい。調査の実施場所については、該当するものに○印を付けて下さい。(その他の場合は、場所名を記入して下さい。)

例) 01年 4月 1日 → 年 月 日、
0(ゼロ)を前に記入して下さい。

II. 調査対象者

「前回認定結果」

2回目以降の認定申請である場合は、前回認定結果について、要支援・要介護の当てはまる数字1～5を()内に記入して下さい。

III. 現在受けているサービスの状況

在宅

●在宅利用の場合は、該当する事項のサービス利用回数を記入します。「住宅改修」については過去の実績の有無を、「福祉用具貸与」については調査時点における利用品目数を、「福祉用具購入」については過去6ヶ月の品目数を、それ以外のサービスについては、原則として当月の予定を記入して下さい。未定の場合や通常の利用状況(予定)と異なる場合は、前月の実績を記載してください。

例) 月8回 → 月08回と記入

●「市町村特別給付」は記入せず空欄にして下さい。「介護保険給付外の在宅サービス」を利用している場合については、その名称を記入して下さい。

施設・病院

●施設・病院に入所・入院している場合は、該当している施設に○をつけ、施設連絡先に施設名、住所、電話番号を記入して下さい。

●養護老人ホーム・有料老人ホーム(特定施設でない)・市内ケアハウス・サービス付き高齢者住宅等は、施設利用の欄のその他の施設に○をし、施設連絡先に施設名、住所、電話番号を記入して下さい。また併せて在宅利用の欄に該当するサービスの利用回数を記入して下さい。

●認知症対応型共同生活介護及び特定施設(いわゆる有料老人ホーム)入所者生活介護に入所の場合、施設利用の欄に○をつけ、併せて在宅利用の欄に日数を記入して下さい。その際、施設連絡先に施設名、住所、電話番号を記入して下さい。

IV. 家族状況

「独居」、「同居(夫婦のみ)」、「同居(その他)」から調査対象者の家族状況に当てはまるものにチェックをつけてください。また、特記事項に家族状況の詳細を記載してください。その際に、特定できる個人の氏名や施設等の名称は記入しないでください。

3. 基本調査

調査判断の基準は「認定調査員テキスト 2009 改訂版」に従って下さい。

記入漏れ、重複回答がないか確認してください。

4. 特記事項

特記事項は書いたものがそのまま印刷され審査会資料となりますので、はっきりと丁寧に記入して下さい
個人や施設等が特定できるような記載はできませんのでご注意ください。

※ 後日、調査内容について確認のお電話をさせていただきます。ご了承ください。

特記事項を記入する際の留意点

○固有名詞・個人情報に記載しない。(氏名・生年月日・住所・病院施設の固有名詞など)

○特記事項はなるべく1頁で収まるよう、余った行を利用してわかりやすくご記入ください。

○枠線からはみ出すと印刷されないため、必ず枠内に収まるようにお願いします。

★特記事項をパソコンで記入する場合には、ホームページに特記事項のデータを載せておりますのでご自由に
使ってください。

印刷時は線と文字が重なっていないかご確認ください。

1 必ず記載する特記事項

○下記の項目については、選択肢に関わらず具体的に記載をお願いします。

1-10 : 洗身

2-1 : 移乗

2-2 : 移動

2-4 : 食事摂取

2-5 : 排尿

2-6 : 排便

2-10・11 : 上衣・ズボン等の着脱

7-1 : 障害高齢者の日常生活自立度

7-2 : 認知症高齢者の日常生活自立度

➡ 自立度を判定するに当たって、「幻視・幻聴」「暴行・暴言」「不潔行為」「異食行動」等、調査項目に含まれていない認知症に関する症状については、特記事項に記載してください。

介助者、実際の状況、介助の方法、頻度、場所等

介助者、具体的な状況（トイレ・ポータブルトイレ・オムツ等）、日中・夜間の頻度、介助の方法等

選択した理由・根拠を特記に必ず記載してください

○概況調査は必ず記載してください（記入していただく内容）

- ・家族状況（独居、日中独居、介護者の有無、家族構成など）・家族等による支援内容
- ・居住環境（戸建・マンション、アパート、段差や手すりの有無、エレベーター等の有無、住居の周辺環境など）
- ・日常的に使用している機器、福祉用具の有無・毎日の過ごし方・病歴
- ・施設入所中や入院中等の状況（きっかけ、時期、退所・退院の予定、他者との関わりなど）
- ・介護保険内外サービス利用状況・申請理由・関係機関・調査同席者（有無・関係など）

※概況調査に介護の状況について記載していただいても審査会での介護度の変更の理由に該当しませんので特記事項に記入をお願いいたします。

例：入浴が大変になり週一回になっている。⇒洗身は自立の場合でも1-10に記入する。

2 選択によって必ず記載する特記事項

○下記の項目は、選択肢に応じて必ず特記事項を記載してください。

□4群：精神・行動障害

→「ある」「ときどきある」を選択した場合…内容・頻度・介護の手間や対応の有無

□6：特別な医療「ある」を選択した場合…実施頻度・継続性・実施者・当該医療行為を必要とする理由

3 「実際の介助の方法」が不適切である事により調査員が判断する場合

○その判断根拠を特記事項に記載してください

★選択に迷った場合は具体的な状況とその内容を特記事項に記載してください。